

基礎・基本 集中反復で 学び続ける力を高める



本日のプログラム (2025.11.28)

- 13:45～ 授業公開(超集中の15分+躍動の30分)
(授業終了後5分間 参観者から児童に質問タイム)
- 14:45～16:00 研究発表会【体育館】
- ・学校長「校内に学力向上ムーブメントを起こす」
 - ・来賓講話 文部科学省 中村 義勝 様
 - ・講演 陰山英男先生「新学習指導要領と集中反復」

皆様、本日は日本全国、そして町田市内各校より小山田南小学校へお越しいただき、心より御礼申し上げます。

本校は昨年12月、陰山英男先生を学力向上アドバイザーとして迎え、子どもたちの学びの質を根本から高める挑戦をスタートさせました。私たちがめざす姿は明快です。「短時間で集中して学び、心ゆくまで思い切り遊ぶ子どもたち」。そして、どんな時代が来ても、「学び続ける力で自らの未来を切り拓く子どもたち」です。取り組み開始から一年を待たない段階ではありますが、子どもたちの学びの姿は確かに変わり始めています。今日ご覧いただくのは、課題に向かって一気に集中し、学びの中で力強く躍動する姿です。その伸びゆく可能性を、ぜひ実際に感じ取っていただければ幸いです。

小山田南小学校 校長 望月 伸司

本日の授業公開

超集中の15分 + 躍動の30分 = 45分

(集中反復モジュール授業)

(次世代型授業の提案)

*モはモジュール授業

教室配置順 学習内容	4年	3年	2年	5年	6年①	1年	6年②	6年③	特支
前半	モ	モ	算数 個別最適	モ	総合 マインクラフト	モ	モ	モ	モ
後半	総合 電子回路	国語 漢字速習	モ	算数 個別最適	モ	国語 運筆	社会 生成AI	外国語 中1キックアップ	総合 GIGA 端末

2年・6年①の2クラスのみ最後の15分にモジュール実施(他は最初の15分に実施)

超集中の15分 15分 集中反復モジュール授業



★「**集中反復**」とは、計算や漢字などの基礎を集中して反復することにより、覚えきるまでおこなう学習方法。学習処理能力を高め、他教科にも効果を広げ、子どもの可能性を高めることを目指しています。

★「**モジュール授業**」とは、45分授業を分割し、短い時間で構成された学習単位(モジュール)を組み合わせる学習方法。

本日のモジュール授業の流れ(各学年)

基本の流れ: 音読 → 100ます計算 → (タイピング英単語) → 漢字

1年	音読(基礎)	→	10ます計算	→	運筆ドリル
2年	音読(基礎)	→	フラッシュ計算	→	デジタル百ます → 漢字
3年	音読(名文暗唱)	→	デジタル百ます	→	タイピング英単語 (漢字速習授業へ)
4～6年	音読(名文暗唱)	→	デジタル百ます	→	タイピング英単語 → 漢字(漢字辞典活用)
つばさ学級(知的固定)	音読(基礎)	→	リズム漢字 → 熟語フラッシュ	→	デジタル百ます → 漢字

本校のモジュール授業の特徴 *毎週(火)～(金) 8:20～8:40 週80分(年間約3,000分)実施

- ◆本校の基礎学力向上の核は、朝のモジュール授業である。毎日の反復で自信と学力を確実に積み上げよう。
- ◆「子どもはどこまでも伸びる」「子どもたちをどこまでも伸ばしたい」という強い思いをもって指導しよう。
- ◆教師の指示や言葉を研ぎ澄まし、最大限のスピード感で最大限の集中力を引き出そう。
- ◆教師の動作(声、目線、立ち位置、机間指導)一つ一つに「子どもを伸ばす意図」をもたせよう。

躍動の30分の授業詳細はP.4へ

躍動の30分

運筆能力・算数個別最適速習授業・超漢字速習
STEAM教育・マイクラフト・生成AI活用
中1ギャップ解決英語・特支GIGA端末活用

教室配置	4年	3年	2年	5年	6年①	1年	6年②	6年③	特支(知的)
内容	総 電子回路	国 漢字速習	算 個別最適	算 個別最適	総 マイクラフト	国 運筆	社 生成AI	外国語 中1ギャップ	総 GIGA端末

ろう下



※3年生の「読み★スタ」検定は、校内の大人だれでも試験官です。頼まれたら試験官になってあげてくださいネ。

学年・教科	こんな授業です	ねらいとポイント
1年 国語 (3年目教員)	めざせ大人字！ 運筆能力を生かして、大切な人にお手紙を書こう！ 運筆能力＝指先で鉛筆を自在に動かす力 特別な運筆ドリルで培った運筆能力を生かし、大切な人へお手紙を書きます。書字力の基盤を整え、学習効率を高める1年生の国語です。	★運筆に気を付けて丁寧に文字を書こう ポイント ・正しい鉛筆の持ち方、姿勢、 ・運筆力を生かして丁寧にきれいな文字を書く ・友達の手紙を読んで大人字を見つけよう！
2年 算数 (6年目教員)	個別最適×速習授業 誰一人取り残さない算数学習 ゴール問題を全体で確認したら、すぐ自学へ。説明を読み、自分で理解し、自分で進める力を育みます。分かなければ自ら動いて学びに行く、令和版“寺子屋式”の算数授業です。 使用教材：自作プリント、キュビナ(AIドリル)	★1000より大きい数の表し方を理解しよう(第2時) ポイント ・通常授業(教科書指導計画)の2～3倍速の授業 ・基礎理解→練習→AIドリル(キュビナ) ・自力で進め、分かなければ自分で教わりに行く
3年 国語 (6年目教員)	前半：1ヶ月で新出漢字200字！？ 驚異の超漢字速習 授業 後半：全校共通「読み★スタ」漢字検定は、校内の大人全員試験官！ おそらく日本最速の新出漢字授業です。子どもたちが驚くほどの集中力で漢字をどんどん覚えます。見て、覚えて、即テストの高速サイクルを実現します。 「読み★スタ」は校内の全ての大人が試験官、廊下に飛び出て試験官をさがせ！	★短時間で新出漢字(4年)を習得しよう ポイント (漢字速習の流れ) ①例文音読→②書き順確認(指なぞり)→③鉛筆なぞり→④隣と書き順確認→⑤テスト練習→⑥テスト ・教室や廊下で大人を試験官に漢字検定
4年 総合 (5年目教員)	STEAM 電子回路探究 ワクワクしながら工学的思考に挑戦！ 電子回路の学習は、現代の電子機器の仕組みを理解するうえで非常に重要です。ワクワクしながら、自分たちの手を動かして、工学的アプローチで論理的思考や創造的な解決方法を身につけます。 使用教材：電腦サーキット	★電腦サーキットで電子回路づくりに挑戦しよう ポイント ・挑戦したい電子回路を自分たちで選択 ・ペアで協力しながら部品集めからスタート ・失敗しても原因を考えながら何度も挑戦
5年 算数 (2年目教員)	算数速習授業 個別最適・協働的な学びのスタイル 「たったこれだけプリント」で予習を軸に要点を短時間で確認し、効率的な速習授業を実現します。児童は「一斉・協働・個別」から最適な学び方を選び、同じ教室で多様な学習が展開します。 使用教材：『たったこれだけプリント』	★直方体や立方体の体積を求めよう(第1時) ポイント ・たったこれだけプリントで最小限のポイント解説 ・自分に合った学習形態、方法、コースを選択する ・自力で進め、分かなければ自分で教わりに行く
6年 ① 総合 (6年目教員)	STEAM マインクラフトで、Let's プログラッ！ プログラミング的思考とは、最適な解決方法を探して試行錯誤する力です。マインクラフト教育版の専用ソフトを使い、児童が知識の習得にとどまらない主体的な学びとして、この思考法を身につけます。 使用教材：V-Code(ブイコード)	★マイクラで家を作り、プログラミングでアレンジ！ ポイント ・プログラミングのコア概念を理解する ・教わるよりも試行錯誤、自立的に学習する ・扉や窓をプログラミングしてオリジナルの家を作る
6年 ② 社会 (3年目教員)	生成AIを活用して歴史上のバーチャル偉人にインタビュー 「みんなで生成AI」(GPT-4o mini)とGoogle 検索を併用。 プロンプトで偉人を設定。AIが人物になりきって回答することで歴史理解を深めます。同時にAIのリスクとファクトチェックも学びます。	★明治維新を進めた偉人の思いにせまろう ポイント ・どんなプロンプトとどんな質問で引き出す？ ・この答えは本当かな？→ファクトチェックにも挑戦 ・仲間と協働、協力して、歴史の真実をさぐれ！
6年 ③ 外国語 (2年目教員)	中1ギャップを完全解決 英語授業 小学校で触れる約700語が、中学では“既習”扱いになるギャップを解消。基本単語・構文の習得に加え、フォニックスを発展させたSOR(Science of Reading)にも挑戦し、中学校へのスムーズな移行をめざす英語授業です。	★小学校英語を楽しくしっかり身につけよう ポイント ・教科書巻末の基本構文の暗唱(会話形式) ・小中英語に頻出する英単語の定着確認ゲーム ・スペルの丸暗記に頼らない単語の読み書き学習
特支(知的) 総合 (1年目教員)	探究×GIGA 端末×協働 = 特別支援教育の可能性∞ 食育をテーマに、子どもたちがGIGA 端末を駆使して探究学習を進めます。身近な給食の残菜や苦手の野菜に目を向けて、調べ、考え、実際に工夫する活動を目指します。 使用教材：職員自作のオリジナルアプリ(←注目！)、Padlet	★ベジタブル・クエスト 残菜から始まる食の探求 ポイント 野菜のひみつをアプリで調べてまとめてよう 残菜を減らすために、みんなが苦手な野菜の栄養素をオリジナルアプリで調べます。調べたレシピをPadletに投稿して、友達と話し合う。



学力向上 アクションプラン 2025 小山田南小



学力向上

自らの将来を自らの力(学力)で切り拓く

- ★「教える」から「導く」への授業改革
- ★基礎・基本の徹底と児童の主体的学習が両輪
- ・集中反復授業の全校取り組み
- ・探究的な学びにも積極的に挑戦
- ・数値分析(達成率、伸び率)を重視
- ・朝 8:20~8:40 のモジュール授業
- ・音読、百ます計算、漢字
- ・デジタル百ます、タイピング英単語
- ・学力向上アドバイザー 陰山英男先生

チーム担任制

学校全体で子供たちを見る、育てる

- ・3年生以上で実施
- ・従来の完全固定担任制を廃止し、学年教員チームで児童の力を伸ばす
- ・原則一週間ごと担任ローテーション
- ・各学級の主担当教員はあり(基本的窓口)
- ・一部教科担任制を導入
- ・担任一人に責任を負わせない
- チームで対応、チームで相談

学力向上に注力する背景(現状)

①全国学テから見る学力課題

- *平均点の低さ。都平均よりマイナス〇〇ポイント
- 特に、国語・算数の基礎基本の定着は必須

②単元末カラーテスト(各学年業者テスト)

- ・平均点の低さ(60点台のことも)
- ・教えてはいるが児童が忘れてしまう(←当たり前)
- ・低得点→「どうせできない」の負のスパイラル

③進学・就職への影響

- ・基礎・基本の未定着、積み残し
- ・中学校でも低学力が継続→小学校で身に付けていないことは中学でもリカバリーしない
- ・「学習性無力感」が生じる→「やっても無駄」
- ・進学、就職への深刻な影響
- ・低学力が子どもたちの将来の選択肢を狭める

★学年チームで最適な児童対応を

- ・当事者意識の低下に注意(×自分ではなく誰かがしてくるだろう)にならないよう気を引き締めよう。
- ・初期対応が命。担当→学年主任→管理職 報連相
- ・自分の指導下で起こった事故やトラブル等に関しては、各指導者が原則対応
- ・主担任は担当学級の保護者窓口(対応はチーム)
- ・面談等は原則、同学年教員も同席・対応

★学年主任が学年チームをマネジメント

学年会設定、進捗状況管理、情報集約、管理職連携

- ・教科担任の分担
- ・学校ルールの確認/学年ルールの設定/掲示
- ・週予定(週案)打ち合わせ(各学級・担任個人)
- ・学年内担当分担(年間行事役割分担)
- ・学年集会(担任紹介、学年ルール、心構え)
- ・学級開き(席替え、係、当番、学級目標 等)

本年度の目標

①K-1 グランプリ 児童8割合格

(新学年新出漢字全校一斉テスト)年2回程度実施
春 プレテスト4/9(水)・本番4/22(火)

目標:合格者学年8割以上(8割以上得点で合格)

②百ます計算2分以内(8割児童)

- ・モジュール、算数授業で最低1日2回実施
- ・4月はたし算同一問題 7割児童が2分以内

③モジュール授業の確立と定着

- ・緊張感とスピード感のあるモジュール学習の定着

④カラーテスト平均点 目標90点

- ・テストから逆算した授業・プレテストの実施
- ・テスト平均点は、管理職に報告・共有

⑤熟語集中学習(漢字辞典活用)4年生以上

⑥集中速習全国発表 11/28(金)

- ・モジュール授業の完成形、授業提案

⑦英語の小山田南(目標:6年生英検5級レベル)

チーム担任制導入でめざすこと

①学級指導の標準化・均質化

- ・年齢(R6平均29歳)や経験値を平均化
- ・欠員対応(1学級のみ担任不在をなくす)
- ・開放的で透明性の高い学級経営をめざす

②チーム対応のメリットを生かした負担軽減

- ・児童、保護者にチームでベストな対応
- ・担任と児童・保護者の相性問題の回避
- ・全て担任の責任という精神的負担の軽減
- ・教材研究の効率化と時間軽減(教科担任制)

③チーム対応で効果的な指導を実現

- ・学年集会等を増やし学年全体で価値観を共有
- ・「隣のクラスの先生」という意識の解消(誰が指導してもOK、どの先生も相談しやすい)
- ・学級崩壊の防止(固定担任での回復の難しさ)
- ・複数の教員の目で子供のよさと課題を見取る

相乗効果を発揮する

圧倒的基礎力を養う 朝のモジュール学習

- ・学力向上の核となる時間
- ・圧倒的基礎力を育むモジュール学習へ
- ・(火)～(金) 8:20～8:40
- ・週4日×20分＝週80分
- ・基本形(音読→百ます→タイピング英語→漢字)
- ・キーワードは「集中力」と「スピード」
- ・集中して繰り返し、完全習得をめざす
- ・教師の言葉を極限まで研ぎ澄まし、一切無駄のない流れ作業を実現する

漢字の取り組み

前倒し 集中速習

- ・新学年の漢字を前学年3学期に学習
- ・4月の全校一斉テストで習得度確認
- ・8割以上得点で合格
- ・覚えたものは忘れる。だから繰り返す。
- ・一年かけて完全定着へ
- ・基本的手順で指導レベルを統一する

全校統一 級別テスト 読みスタ★書きスタ

- ・各学年 読み・書き 各10ユニット
- ・合計120ユニットに挑戦する
- ・書きスタ(書き検定)は各学級で実施
- ・読みスタ(読み検定)は全校の大人誰にでも
- ・自分の学年を飛び越えてもOK

算数の取り組み

集中速習授業

- ・授業イメージ(倍速、個別最適、協働、プレテスト)
- ・教師が教える時間を極力減らす。
- ・自ら読み、理解し、練習するサイクルをつくる
- ・自己決定、自己選択(学習形態、方法・コース)
- ・個別最適(教わる子、自分で進める子、さらに進む子)
- ・チャレンジ問題で積極的な協働的学び

テスト 100 点プロジェクト

- ・高得点でプラスの学習サイクルをつくる
- ・100点がとれたとき子供は変わる
- プレテスト→本番→やればできるという自信→楽しい!
- 前向きな努力の継続→さらなる学力の向上

たったこれだけプリント

- ・各教科のミニマムが集約。この知識を確実に定着させる。左ページがポイント、右ページが演習
- ・4～5月 算数 一年間の学習の俯瞰的速習授業
- ・音読、宿題、予習、復習にフル活用する

鉛筆シャープの全校導入

- KOKUYO「鉛筆シャープ」1・2年1.3mm/3～6年0.9mm
- ・コクヨと小山田南小の共同実証研究
 - ・本体の太さが鉛筆よりも持ちやすい
 - ・芯径が太く、小学生の筆圧でも折れにくい
 - ・削らなくて良い、使っていて短くならない

全校一斉漢字テスト K-1グランプリ

- ・漢字に関する全校イベントで学力向上ムーブメントを巻き起こそう!
- ・4月(新出)、10月(熟語)
- ・8割以上得点で合格
- ・合格者全員に表彰状、表彰イベントあり

漢字辞典を活用した語彙拡張学習 コトバンク

- ・一人一冊漢字辞典(4年生以上)
- 熟語を自分で調べ、選択し、集める
- ①漢字辞典で熟語の意味を確認する
- ②自分で5つ熟語を選択して書く
- ③自分の語彙銀行に貯金

百ます計算

- ・百ます計算の取り組みとタイム短縮は最優先
- ・モジュール授業と算数冒頭の1日2回
- ・四則計算の習熟なくして算数力の向上なし
- ・モジュールと算数授業導入で最低1日2回

各学年の目標タイム

1年	たし算・ひき算	2分以内
2年	たし算・ひき算・かけ算	2分以内
3年	たし算・ひき算・かけ算	100秒以内
4・5・6年	たし算・ひき算・かけ算	90秒以内
5・6年	わり算	5分以内